

むろらん 市議会だより

発行／室蘭市議会
編集／広報特別委員会

わがまち21世紀の宝



5月末に開催された「祝津さくらまつり」で、桜の植樹を行っている様子です。

祝津商店会が市の「まちづくり活動支援補助金」を活用し、地区内の約300本の八重桜のPRと祝津地区の活性化を目的として企画しました。

当日は、絵鞆小学校の1年生や長寿会による記念植樹のほか、地元商店街による露店、野菜の模擬せりなど、趣向をこらしたイベントが行われました。

このお祭りをきっかけに、地域の住民と商店会の交流が深まり、地域コミュニティの活性化につながっていくことを期待します。



平成23年第2回室蘭市議会定例会日程

- 6月 6日 本会議 (開会、市政方針及び教育行政方針説明、議案説明ほか)
- 6月 10日 本会議 (代表質問)
- 6月 13日 本会議 (代表質問)
- 6月 16日 本会議 (質疑・一般質問)
- 6月 17日 本会議 (質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか)
- 6月 20日 常任委員会 (総務、経済建設)
- 6月 21日 常任委員会 (民生)
- 6月 22日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 6月 23日 特別委員会 (一般会計予算審査)
- 6月 24日 特別委員会 (特別会計予算審査)
- 6月 27日 委員会 (議会運営)
- 6月 28日 本会議 (各種議案の議決ほか、閉会)

第2回定例会開催

平成23年第2回室蘭市議会定例会が、左記日程のとおり、23日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として平成23年度の一般会計補正予算を初め、条例改正等を含む議案10件、議員提出議案として意見書案3件について、審議・議決しました。

代表質問

各会派の代表質問及び答弁から15項目を取り上げ、要旨を紹介します。

市政創造

やまなか
山中 正尚 まらのなほ

魅力ある港づくりについて

【問】JX日鉱日石エネルギー室蘭製油所の閉鎖検討が報道されている。経済産業省においては過剰状況にある石油精製能力の事実上の減産政策を公表し、それを受けたJX日鉱日石エネルギー側は約3割の削減方針を出している。今後の室蘭製油所の動向に大変な危機感を持っているが、本市の対応と影響は。

【答】会社側が発表した事実はないという情報を得ているが、安心できる状況ではないと認識している。また、室蘭製油所が本港全体の取り扱い貨物量の約6割を占めており、本市経済・雇用などに及ぼす影響は甚大である。まずは情報収集を進め、道と連携し全

市挙げ、要望活動に取り組み。【問】チップヤードの移転を視野に入れた白老港第3商港区が24年度完成予定であるが、崎守チップヤードへの今後の影響は。

【答】白老港第3商港区におけるチップの取り扱いが明確ではないが、崎守チップヤードでのチップ取扱量は、本港公共埠頭取扱貨物量の約6割を占め、仮にその機能が他港に移転した場合、影響は多大である。関係機関・企業からの情報収集に努める。



見直しが予定される道の駅「みたら室蘭」

【問】道の駅「みたら室蘭」の魅力向上策として、市民が望む一次産業物品を販売するブースの開設が必要では。

【答】ご当地物産の販売は、道内の他の道の駅では好評を得ており、市民や公設市場関係者などと相談し、市民が望むようなリニューアルを図る。

市民ネット・むろらん

さとう
佐藤 潤 じゅん

市政方針や政策実現のプロセス

【問】市政方針について、方針の組み立て、財源を含めたプロセス、まちづくりの進め方に物足りなさを感じるが。

【答】市民生活につながる施策はスピード感を持って取り組み、政策目標は今年度中に方向づけを図る。

脱原発・自然エネルギーの推進

【問】脱原発を室蘭より発信するべきでは。また、再生可能エネルギー（※1）の導入や特区指定の働きかけなども重要では。

【答】国ではエネルギー基本

計画見直しが始まり、安全・安定的なエネルギーの確保が必要。また、低炭素型のまちづくりを検討する。

大黒島を核とした海釣り公園

【問】室蘭八景の一つである大黒島周辺を海釣り公園として再生する考えは。

【答】大黒島の開発は海鳥の営巣地であり、慎重な取り組みが必要。現在は島周辺の清掃等管理をしている。貴重な財産を守るため、適切な維持管理を図っていきたい。



室蘭港の玄関口にある大黒島

教育環境の向上

【問】教職員の職務の多忙化に対し、人員配置計画を盛り

込んだ「教職員ゆとり基本計画」を作成することが、児童生徒の学力向上になるのでは。【答】教職員の多忙化は深刻な課題と認識している。教育の質の向上も求められている中で学力向上と教職員の多忙化の解消に取り組みたい。

公明党室蘭市議会

ほそかわ
細川 昭広 あきひろ

地域防災について

【問】室蘭市地域防災計画の見直しスケジュールは。

【答】国の防災基本計画との整合性を図ることが義務づけられており、北海道防災計画などと連動して、本市地域防災計画を平成24年度に見直す予定である。

魅力ある港づくりについて

【問】将来的なテーマとしての災害医療支援船（ドクターシップ）について伺う。

【答】本市は、高度医療機関が多く、また災害拠点病院や災害派遣医療チームも編成されており、防災救急について

は高い水準にあると認識している。また、室蘭港は災害に強い港でもあり、耐震岸壁、防災フロートのハードや、蓄積された造船技術もあり、防災拠点港としての位置づけも高く、今後も将来的な視点で港の価値向上のためにさまざまな角度からの検討が必要と考える。その中のドクターシップについても、情報収集に努め、室蘭港の魅力向上や活性化に取り組む。

スポーツ振興について

【問】祝津テニスコートについて多くの市民から改修の要望が寄せられているが、今後の改修について伺う。



改修が望まれる祝津テニスコート

【答】祝津テニスコートの整備に向け、今後財源的な問題やまちづくりからの視点も踏まえ、検討する必要がある。

日本共産党室蘭市議団
常磐井 茂樹

市政運営の基本姿勢について

【問】憲法と地方自治の本旨にのっとる立場をとるのか。また、市民生活の実態に即した市政運営についての考え及び人事管理の透明性についての考えは。

【答】市政の基本は地方自治の本旨を実現すること考える。また、市政運営については、市民要望をできるだけまぢづくりに反映させたいと考える。人事管理については、公平性、中立性を基本に職員の意欲、能力を最大限に引き出し、施策の推進が円滑に行われるよう適材適所に努める。

災害に強いまちづくりについて

【問】原発ゼロへの諸対策を政府に求め、意見表明をする考えを伺う。

【答】エネルギーのあり方に関し、国の基本計画の見直しを注視しつつ、地球環境保全と安全・安心の確保、社会・経済の発展を前提に、安全対策や現在の体制を見直し、国民から信頼されるよう、万全を期すことが必要。

社会保障と

税の一体改革について

【問】社会保障の財源をすべて消費税で賄うことになれば、20%の税負担になり、貧困と格差を拡大することにつながる。市長の見解はいかに。

【答】消費税を増税する際には、格差拡大につながるような「軽減税率」などの逆行性対策をとることも含め、十分な論議を行い、合意を得ることが必要と考えている。

新緑会

羽立 秀光

33歳の市長が誕生した意義とまちづくりについて

【問】若い市長が誕生した意義、そして先を見据えたまち

づくりとは。

【答】新たな発想と行動力で閉塞感を変えることに市民は期待し、それにこたえることが若い市長が誕生した意義と考える。また先を見据えたまちづくりは、人口減少、少子高齢化、経済のグローバル化などの社会課題等について将来展望に立つて方向性を定め、一歩ずつ着実に取り組みを進めることで、長期的なまちづくりを実現していく。

行財政改革について

【問】夕張市長のように自らの給料等を大幅にカットする考えは。

【答】市長以下の特別職の給与は既に年間ベースで23%の大幅な削減を行っている。

地域防災計画の

見直しについて

【問】大震災を教訓に、いち早く防災計画を見直す考えは。

【答】平成23年度より避難施設の標高や耐震状況などを調査し、今後修正される国の防災基本計画に基づき、本市の地域防災計画を見直したい。



見直しを進める地域防災計画

行財政改革と 公共サービスについて

【問】公約実現のため組織機構が示されていないがなぜか。
【答】本年度は職員数の推移も勘案しながら、防災対策、高齢者対策など新たな課題に対応できる組織を検討し、24年度より実施したい。

【用語解説】

※1 再生可能エネルギー…風力、太陽光熱、水力、地熱、バイオマス、雪氷、温度差などを利用した新エネルギーのこと。

質疑・一般質問

議員 9 人の質疑・一般質問及び答弁から 18 項目を取り上げ、要旨を紹介します。

元 風 会 金濱 元一

だんばらスキー場の取得について

【問】室蘭リゾート開発が運営するだんばらスキー場の施設取得に向けた予算計上の時期は。

【答】スキー場取得に当たっては、第3回定例会の所管委員会で検討結果を報告し、第4回定例会で条例改正及び補正予算が計上できるよう作業を進めている。

町内会館耐震診断について

【問】耐震診断対象の町内会館数とその後の対応は。

【答】診断の対象件数は48件で、申請により調査は年間10件程度を予定。診断後の対応は地域活動の拠点としての機能を考え、融資制度を含めた新たな支援策を研究していく。

市政創造 古澤 孝市

大和団地建てかえの予定は

【問】東町大和団地建てかえのスケジュールは。

【答】1期5力年を3期、計15年を予定している。23年度は寿町職員住宅を解体。25年度は1棟目の完成後は入居者の住みかえを行い、社会情勢の変化など流動的な面もあるが、2期目以降も5力年ごとに計画を策定し進めていく。



建てかえが予定される大和団地

歩道のバリアフリー化は

【問】本市は小樽市に次ぐ高齢化率の高いまちであるが、歩きにくい歩道が多い。車いすが自由に通れる、段差・障害物のない歩道整備の予定は。

【答】歩行者に優しいユニバーサルデザイン（※1）の考え方に立ち、本格的改良を伴う際には、バリアフリー化を進めたい。

市政創造 早川 昇二

子育て環境の見直しについて

【問】母親の高い就労要望を踏まえた保育施設等の利用分析と今後の取り組みについて。

【答】就労形態の多様化等から、一時・乳児・障害児保育等の利用が増加しており、こどもショートステイ（※2）受け入れもあわせ、事業拡充と環境整備を図っていく。

地域防災について

【問】自主防災組織の現状と今後の取り組みについて。

【答】自主防災組織は現在31

町内会で結成され、結成率は24.8%となっている。23年度には4町内会で結成が予定されている。この度の震災で市民の防災意識が高まつており、災害時要援護者支援のためにも結成に向けた町内会への働きかけを一層強めていく。

新緑 会 早坂 博

市長公約の具現化について

【問】人口10万人に戻す意気込みでまちづくりをするとのことだが、人口増加を具現化できる方策は。

【答】公共施設跡地等を活用した良好な住宅地の形成や、企業誘致による雇用の場の確保など、人口定住に係る施策について総合的に取り組むことが必要と考えている。

雇用政策について

【問】商業振興による具体的な雇用対策の考えは。

【答】23年度は、就職支援事業として「就職サポートプラザ室蘭」を開設し、求人情報の提供をしている。また本市

及び札幌市で「適職フェア」、「企業面接会」を実施し、雇用の拡大を図っている。



室蘭市在住であれば就職相談等のサービスを無料で利用できる就職サポートプラザ室蘭

市民ネット・むろらん 立野 浩靖

商店街の新規出店への助成制度について

【問】助成制度創設の具体的な内容と設定期日は。

【答】商店街の衰退要因である空き店舗の解消に向けた継続的な制度を考えている。年度内をめぐりに各地域商店街振興組合等と協議を進めながら、制度設計をしていきたい。

教育環境の整備について

【問】現在のスクールバス運行に加え、部活動に対応した運行についての考えは。

【答】スクールバスの運行は現在授業日のみだが、部活動への対応や、24年度からの新学習指導要領に基づく教育課程とのかわりもあり、休業日の運行について、バス会社との協議も含め今後検討する。

公明党室蘭市議会
柏木 隆寿

被災者支援システムについて

【問】被災者支援システムは東日本大震災を契機に導入す



東北地方太平洋沖地震で崎守漁港区のホタテの桁などが被害を受けた

る自治体がふえてきた。本市でも導入する考えは。

【答】西胆振地域で共通に構築し、使用することが災害時に役立つことから、共同電算や定住自立圏の取り組みの中で検討を進めている。

市民感覚の市長について

【問】全国的にも退職金を返上する考えの市長が増えている。市民感覚を標榜する市長として1期4年ごとの高額な退職金を見直す考えは。

【答】退職金削減については色々な考え方があって、本市の財政状況等を総合的に判断して今後検討する。

日本共産党室蘭市議員
田村 農夫成

小規模修繕契約希望者登録制度の拡大について

【問】30万円未満の修繕を大工・左官などに直接発注する制度の拡大・拡充の考えは。

【答】修繕の持つ性格上、突然発生することが多く、目標設定は難しいが、担当部局と協議し発注拡大に努めていく。

住宅リフォーム助成制度の創設について

【問】住宅建設やリフォームの需要が落ち込み、中小零細業者等が大変な状況。助成制度を実施すべきと考えるが。

【答】リフォーム助成は交付金の対象であるが、耐震改修等の定型的なもの以外は道との協議が必要。庁内での横断的対応も要し、組織のあり方も含め検討が必要。

市民ネット・むらとん
高橋 直美

防災資機材について

【問】東日本大震災では、避難所での乳幼児用物資の不足が目立った。本市の備蓄品にも、粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつ等の不足があるが、今後の対応は。

【答】災害時用備蓄品の品目と備蓄数量等の検討の中で、大人だけでなく乳幼児用物資の備蓄に向け、検討を進めていく。



大震災を教訓とした災害時用備蓄品の品目追加は

まちづくり協議会について

【問】さまざまな理由から、直接参加できない方々の協議会参加を図るため、インターネット中継を導入する考えは。

【答】参加者の了解を得るなど課題もあるが、まちづくりに関心を持ってもらう契機となることから、検討を行う。

室蘭まちづくりネット
南川 達彦

給食費無料化について

【問】少子化解消に向けた子育て支援として、給食費の無料化を実施しては。

【答】新たに3億円の財源が必要となり、本市財政状況や

受益者負担からみても難しい。
【問】子ども手当など使途不明な援助より給食費無料化は使途が明確で、子育て支援として最適だと考えるが。

【答】子ども手当は国の政策であり、変えることは難しい。

児童・生徒の保護者への食育について

【問】栄養教諭による食育指導は児童生徒だけでなく、保護者への取り組みも必要では。
【答】現在も給食試食会など取り組んでいるが、今後より一層の取り組みを行っていく。

【用語解説】

※1 ユニバーサルデザイン

…文化や老若男女の差異、障害、能力を問わずに利用できる施設や製品等の設計(デザイン)。

※2 ハコモシヨートステイ

…保護者の疾病や仕事などから、家庭で子どもの養育が難しくなった場合に、児童養護施設において一時的に養育する制度。



らいとあっぷ

《地方議会議員年金制度の廃止》

今回は地方議会議員年金制度の廃止の流れについて説明いたします。

同制度は昭和36年7月に任意加入の互助年金制度として発足しました。その後、昭和37年12月には地方公務員共済組合法に基づく強制加入の年金制度へ移行しました。

平成に入り、市町村合併が全国で大規模かつ急速に展開されることになりました。それに伴い、市町村議会の議員を辞めた人が増えた結果、年金受給者数が約2割増加し、1人の議員が約3人の受給者を支える構造となりました。この不均衡な収支を改善するため、2度にわたり大幅な掛け金と市町村などの地方公共団体負担金の引き上げ、さらに給付の引き下げ等が行われたものの、市・町村共済会の積立金は急激に減少しました。

平成20年12月には平成24年にも議員年金制度が破たんするとの試算がまとめられ、これを受けて総務省内に有識者会議が設置され、議員年金制度そのものの廃止案がだされました。

平成22年12月には総務省が全国都道府県議長会など3つの団体に平成23年6月で年金制度を廃止する案を提示、平成23年3月に地方議会議員年金を廃止する「改正地方公務員等共済組合法案」が閣議決定され、5月20日に参議院本会議で可決、成立しました。これにより平成23年6月1日をもって年金制度は廃止となりました。

国は今後、共済年金、厚生年金の一元化など年金改革の中で地方議会議員年金のあり方を1年かけて検討する考えを示しています。(なお、国会議員互助年金制度については、平成18年4月1日をもって廃止されております。)

今後、地域主権の時代を迎えるにあたり、地方議会議員に課せられた使命と責任がますます増えることから国の判断が求められるものと考えています。

編集後記

4月の統一地方選挙により、4人の新人を含め22人が市議会議員に当選しました。知恵を出し、汗をかきながら、自然災害などに強い安心・安全な室蘭のまちづくりについて議会論議をしております。

今月号から新体制で「議会だより」を編集・発行することとなり、テーマを「市民とともにつくるまち」としました。地方分権時代にふさわしいまちを市民の皆様とともに作りたいという意味を込めています。多くの方にご愛読いただけるよう編集委員一同頑張りますので、よろしくお願いたします。

(細川)

一広報特別委員会

委員長 細川 昭広 副委員長 金濱 元一
 委員 立野 浩靖 委員 南川 達彦
 委員 早川 昇三 委員 常磐井茂樹
 委員 早坂 博

平成23年第2回臨時会議決結果 会期：平成23年5月11日(水) (1日間)		
番号	件名	議決結果
	議長の選挙	当選 (水江 一弘議員)
	副議長の選挙	当選 (砂田 尚子議員)
	西いぶり広域連合議会議員の選挙	当選 (我妻 静夫議員) (水江 一弘議員) (早坂 博議員) (細川 昭広議員)
議案第1号	監査委員(議員選出)の選任について同意を求める件	同意 (山川 明議員)
議案第2号	副市長の選任について同意を求める件	同意 (寺島 孝征氏)
議案第3号	固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意
議案第4号	室蘭市議会委員会条例中一部改正の件	原案可決
報告第1号	専決処分について承認を求める件(平成23年度室蘭市一般会計補正予算(第1号))	承認
報告第2号	専決処分について承認を求める件(室蘭市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	〃

平成23年第3回臨時会議決結果 会期：平成23年5月31日(火) (1日間)		
番号	件名	議決結果
議案第1号	室蘭市税条例中一部改正の件	原案可決
議案第2号	室蘭市環境基本条例中一部改正の件	〃
議案第3号	室蘭市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例中一部改正の件	〃

平成23年第2回定例会議決結果 会期：平成23年6月6日(月)～ 6月28日(火)(23日間)		
番号	件名	議決結果
議案第1号	平成23年度室蘭市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第2号	平成23年度室蘭市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第3号	平成23年度室蘭市病院事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第4号	室蘭市街路灯助成条例中一部改正の件	〃
議案第5号	室蘭市営住宅条例中一部改正の件	〃
議案第6号	財産取得の件(公有地)	〃
議案第7号	工事請負契約締結の件(室蘭市立室蘭西中学校校舎棟新築建築主体(その1)工事)	〃
議案第8号	工事請負契約締結の件(室蘭市立室蘭西中学校校舎棟新築建築主体(その2)工事)	〃
議案第9号	工事請負契約締結の件(室蘭市立室蘭西中学校校舎棟新築建築主体(その3)工事)	〃
議案第10号	工事請負契約締結の件(室蘭市立室蘭西中学校体育館棟新築建築主体工事)	〃
意見書案第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	〃
意見書案第2号	公立学校施設における防災機能の整備推進を求める意見書	〃
意見書案第3号	安全最優先の原子力政策への切りかえ、自然エネルギーへの転換を求める意見書	〃

市議会ホームページをぜひご覧ください!

室蘭市役所ホームページ⇒「市議会のホームページ」
 「議会中継」

※市議会中継は市議会開会中のみライブで、その他の期間は録画放送でござんいただけます。



平成23年第3回室蘭市議会定例会 会期(予定)

9月5日(月)～9月26日(月)

※会期の決定及び日程の詳細につきましては、9月1日(木)開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ(議会日程)に掲載いたします。